

全世界新聞

- 第17号 - 2026年1月発行

愛知学童保育連絡協議会（名古屋市熱田区沢下町9-7-308）

TEL: 052-872-1972

FAX: 052-308-3324

e-mail: aichigakudou@gakudou.biz

URL: <http://gakudou.me/>



各SNSのQRコード



愛知県連協では、県連協ホームページを随時更新し、それにあわせて上記のSNSで情報発信を行っています。LINEではオープンチャットを使い情報発信をしています。

CONTENTS

p.1 “県連協会長所感”

p.2~3 “主な部会などの紹介”・書籍紹介

p.4 “地域学童紹介”（瀬戸）・四コマ漫画

ご挨拶

五七年目を迎えて

（県連協会長）

今年度から会長になりました、藤田です。名古屋市瑞穂区のあさがお学童の保護者OBです。子ども3人が学童に通いました。現在では、一番上は社会人、一番下が高校生という構成で、私はまもなく50歳になります。のほほんと役員をやつてきたため県連協についてはわからないことばかりですが、なつてしまつたからには会員の皆様のため、そして県内全域の学童保育のために尽くしていきたいと思います。県連協役員の皆さん、そして、各地域の運営委員の皆さん之力を集めて、学童保育の質の向上を図りたいと思います。

県連協の位置付け

さて、市町村事業である学童保育について、県連協はどのような位置づけにあるべきでしようか？まずは、県内各市町村の橋渡しをすることが大切であると考えています。定期的な運営委員会の場をベースに、研究集会や学童ほいく

学童保育は子どもの放課後の最善の利益

ひろばなど、イベントを行うことで、閉鎖的になりがちな各地域をつなぐことができるを考えます。日ごろから連携をとることで、自然災害や事件、事故の際の助け合いにもつながつくると信じています。

今後のテーマ



藤田裕久(県連協会長)
名古屋市瑞穂区保護者OB

ひろばなど、イベントを行うことで、閉鎖的になりがちな各地域をつなぐことができる「子どもの権利条約」を県内全域にしっかりと広めて、学童保育は子どもの放課後の最善の利益を実現する場であることを忘れら

また、各地域連協が市町村に要望を出すのと同様に、県に對しては県連協からの働きかけを行っていきます。そして全国連協を担う一員として、全国連協の活動、国への働きかけも協力していきます。全国連協との関連でいえば、「日本本の学童ほいく」誌の普及拡大活動に取り組み、全国連協を資金面でも支えていきたいと思います。

あるべき姿

最後になりましたが、指導員も保護者も学童保育の「あるべき姿」を自分たちできちんと考え、実施主体である市町村に伝え、子どもたちの最善の利益が守られる学童保育を、県内全域で実現していきましょう。微力ながら務めますので、皆様もご協力のほどよろしくお願いいたします。

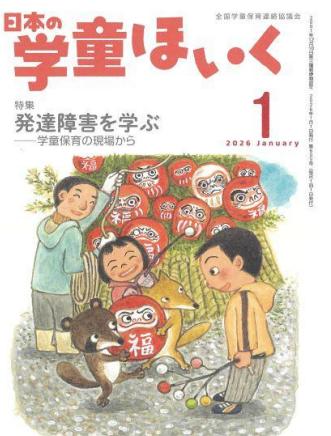
の早期設立、などを重点的に取り組んでいきたいと考えています。さらに、私個人の思いとしては、「子どもの権利条約」を県内全域にしっかりと広めて、学童保育は子どもの放課後の最善の利益を実現する場であることを忘れられないようにしたいと考えています。

【主な部会やプロジェクトチーム（PT）の紹介】

県連協では2025年度9月時点
で、10の部会やPTを組織し、学
童保育の発展に繋がるように活動し
ています。

◆ほいく誌部会

「ほいく誌」の魅力をより多くの
方に知つていただくために、ほいく
誌普及拡大会議やほいく誌交流会を
通じて現役保護者や指導員の方々と
つながりを深めています。これらの
活動を通して、子どもたちを支える
温かな輪を広げるとともに、ほいく
誌の購読数増加にも繋がるように活
動をしています。また、活動の様子
や魅力をお伝えするために「ほいく
誌ファン」を発行し、情報発信にも
力を入れています。



愛知県内の学童保育の指導員さん
の集まりです。集まつて、保育の悩
み事や学童保育の運営についての質
問、保育・行事などのアイディアや
アドバイスの交流をしています。ま

◆あいち・なごや指導員会ai

毎年発行している「あいちの学童
保育情報」という冊子を編集してい
ます。分担して、54市町村からア
ンケートをとり、集計しています。
冊子を議員さんや自治体にお渡しし、
会員の学童保育所にはPDFで提供
しています。お問い合わせは事務局
までお願いします。



ムページやInstagram、Facebook、X、LINEなどを
活用し、活動紹介や学童保育をと
りまく動きをタイムリーに発信して
います。情報量の多さと、わかりや
すさを大切にしながら、地域で活用
しやすい発信を目指しています。(1
ページ右上の各種二次元コードから
参照)

◆ハンドブック部会

ほぼ毎月第4水曜日にZoomで
交流しています。保育に活かせるよ
うな楽しいことを考えたり、楽しく
話をしたりして情報交換しています。

◆専従雇用PT

三団体（愛知学童保育連絡協議会、
名古屋市学童保育連絡協議会、特定
非営利活動法人学童保育指導員協会）
が合同で専従職員を雇用しており、
学童保育に関する相談や行政・議会・
他団体との涉外、研修の企画・運営
を担っています。その職員の雇用の
安定を図るために1～2か月程度に
1回、会議を行い、雇用に関する課
題を話し合っています。

また現在、専従職員を募集してい
ます。詳しくは下の二次元
コードからご覧ください。



会を盛り上げるために作られた部隊
です。4月くらいから活動をし始め、
全国学童保育連絡協議会から下りて
くる情報を元に、研究集会に参加し
てみようかな?と思えるようなニュ
ースを毎月作って発行しています。

広報部会では、県連協ニュース・
全世帯ニュースの発行に加え、ホー
ムページやInstagram、Facebook、X、LINEなどを
活用し、活動紹介や学童保育をと
りまく動きをタイムリーに発信して
います。情報量の多さと、わかりや
すさを大切にしながら、地域で活用
しやすい発信を目指しています。(1
ページ右上の各種二次元コードから
参照)

◆全国研PR部隊

毎年行われる全国学童保育研究集
会を盛り上げるために作られた部隊
です。4月くらいから活動をし始め、
全国学童保育連絡協議会から下りて
くる情報を元に、研究集会に参加し
てみようかな?と思えるようなニュ
ースを毎月作って発行しています。

会を盛り上げるために作られた部隊
です。4月くらいから活動をし始め、
全国学童保育連絡協議会から下りて
くる情報を元に、研究集会に参加し
てみようかな?と思えるようなニュ
ースを毎月作って発行しています。

◆みんなで話そう学童保育ひ ろばPT

毎回、学童保育における各地域で
抱える問題や多岐にわたる課題など
からテーマを取り上げ、年1回のペ
ースで開催しています。旧合宿研究
会の名称を2017年度（大府にて
開催）から親しみやすいようにリニ
ューアルしました。2018年度は

豊川、2019年度は安城、202
2年度は尾張旭、2023年度は春
日井で開催しています。

毎年行われる全国学童保育研究集
会を盛り上げるために作られた部隊
です。4月くらいから活動をし始め、
全国学童保育連絡協議会から下りて
くる情報を元に、研究集会に参加し
てみようかな?と思えるようなニュ
ースを毎月作って発行しています。

毎回、学童保育における各地域で
抱える問題や多岐にわたる課題など
からテーマを取り上げ、年1回のペ
ースで開催しています。旧合宿研究
会の名称を2017年度（大府にて
開催）から親しみやすいようにリニ
ューアルしました。2018年度は

◆えがおP.T

東日本大震災後、学童保育支援を目的に2012年に発足。被災地へ支援・視察や指導員派遣を行い、能登半島地震でも活動。安全計画や危機管理マニュアルの情報提供、研修・アンケートを通じ「備え」を強化。今後、南海トラフへの対応も視野に、地域との連携を深めていきます。ぜひ、LINEオープンチャット【防災 あいちの学童】にご参加ください。（下記二次元コードより）



◆あいち学童保育研究集会事務局

毎年3月第1日曜に開催されるあいち学童保育研究集会と実行委員会を企画運営するため、6月から翌3月の“期間限定”で、愛知県連協と名古屋市連協の役員が月1回集まって活動しています。年に一度、学童保育に関わる皆さんと交流＆共感して、「学童つていいね！」と改めて感じ、気持ちも新たに新年度を迎えてもらえるような場を、地域や実行委員の皆さんと一緒に創り上げています。ご興味のある方は事務局に遊びにきてください！

◆全国指導員学校P.T

全国学童保育連絡協議会が主催する学童保育の研修会です。2025年度で第50回を数え、全国8会場（北海道、東北、北関東、南関東、西日本2会場、四国、九州）で毎年1回開催されます。愛知は、岐阜、三重、滋賀、京都、石川とともに西日本会場の1つを担当しています。

午前の全体講座は学童保育の研究者からの講義、午後は基礎、理論、実践などの講座に分かれて学びます。学童保育指導員の専門性を高める、質の高い学びを得ることができます。

□ ■ □ 書籍紹介 □ ■ □

いかだ社より、学童期の遊びを学童保育から「あそび・遊ぶ・あそべ・遊び！」の本が10月25日から販売されています。監修は愛知県連協の専従職員の賀屋哲男さん、北海道から沖縄まで学童保育指導員を中心にして、15の遊びを紹介し、研究者からの遊びへの応援が書かれています。（詳しくは、下記二次元コードよりご確認ください。）



「あそび・遊ぶ・あそべ・遊び！」を読んで

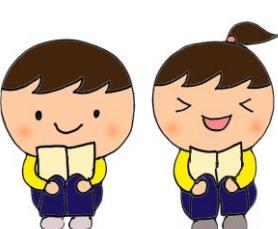
あそびの本が大好きな私は、この本の発刊を楽しみにしていました。

あそびの本の中に載っているあそびを見ていると、いつも子どもたちと一緒に遊ぶことを頭の中でシミユレーションします。そして、子どもと一緒に楽しんでいる様子がシミユレーションできると、子どもたちに「ねーねー、これ一緒にやつてみない？」と声をかけて遊んでいます。

この『あそび・遊ぶ・あそべ・遊び！』の中には、知っている遊びもあれば、「え？ これなに？ おもしろそう！」と初めて知る遊びもありました。まず、やつてみたのは『バケツ野球』。近隣の住宅にご迷惑にならないようにするのと、またなかなか公園にも遊びに行けないので、この『バケツ野球』は、小さい庭でこ



ぢんまりとできて、小さいボールを



当てることができない子もバケツのフタなら当てる事ができるので、どの子でもできて楽しめるのが良いです。室内の遊びでは『サイコロゲーム』をやってみました。サイコロを器の中に振り入れる単純な遊びなので、誰でもできる遊びでおもしろい！いつも一緒に遊ばない子と一緒に楽しめるのも遊びの醍醐味だなあと思いながら、子どもたちと楽しんで遊びました。

他にも「これ、みんなでやってみたいなあ」という遊びもたくさんありますし、子どもたちも手に取って見られる場所に置いてあるので、「これ、どうやってやるの？」「これ、おもしろい？」と興味津々で見ています。

この本に載っている遊びは、少しずつ小出しにしながら子どもたちといっぱい楽しんでいきたいと思っています。（県連協役員）

地域学童紹介



左から、幡山東児童クラブの藤林指導員(あやなちゃん)、宝島児童クラブの勝原指導員(かつちゃん)、流れ星児童クラブの坂野指導員(ひでさん)



♡ チャコ作 ♡

瀬戸市では、27の放課後児童クラブ（学童保育）があり、その中でNPO法人「こどもの杜」が運営する14か所が2024年度から県連協に加盟しています。今回は、その一つである流れ星児童クラブにお邪魔して、お話を聞いてきました。な

おインタビューには、指導員歴15

年になる坂野指導員に対応いただきました。

年間のイベントは？

一番大きなイベントとしてキャンプ、それに向けての合宿、お出かけ、七夕、ハロウィン、クリスマス会など年間で計画を立て、子どもの心と身体が成長できるように活動と遊びを行っています。毎月の保護者会

指導員のスマホの扱い方を見直しました。放課後の子どもたちの安全な生活の場を守ること、保護者が安心して働くことができる運営体制を整えていくのも指導員としての役割と思っています。

最近の出来事は？

社会問題化している一連の盗撮事件を受けて、学童保育所内における

では、各イベントの様子を報告することで、保護者との交流にもなっています。



流れ星児童クラブの様子

大切にしていることは？

「今の時代だからこそ、遊びを通じて学童保育での子ども同士が楽しく、また指導員も楽しく過ごせることを大切にしています。そして縦と横の繋がりを重視しながら、これらも指導員を続けていきたいと思っています。」と語ってくれました。

○ ● ○ ● ○ ● ○ ○

県連協では、加盟する学童や地域連協と連携し、情報共有や交流を行い、運動の発展に繋げています。坂野指導員とも、そんな交流の中で知り合い、今回の地域学童紹介となりました。

(県連協広報部会)